

「北海道の雪氷」の発刊に際して

木 下 誠 一

雪氷学会北海道支部は、昭和34年5月8日札幌市北4西6の自治会館において発会式をあげた。初代の支部長は吉田順五現会長である（当時北大低温科学研究所教授）。この1年ほど前から、北海道開発局、札幌、北電、気象台、営林局、林試、農試、海上保安庁、道、札幌市、北大等が中心となり、学会本部事務局の石原健二、福井篤両氏の尽力で、発足の運びとなったものである。北海道支部の目的は、日本雪氷学会としての雪氷および寒冷に関する種々の事業を行ない、学会の発展に寄与することは勿論ですが、特に北海道に在住する会員に関連の深い問題を取りあげることです。現在まで、毎年かかさずに、総会、講演会、談話会、見学会、講習会が開かれており、又時には研究発表会も開かれて来ております。その都度、会員各位の御協力をいただき、よい成果をあげたと思います。特に談話会では、札幌以外の道内の地方で毎年会をもち、その地方に特色のある問題を取りあげて来ました。近い例では、紋別市において昭和57年1月29日に、“流水と漁業”という話題で談話会が開かれました。地元の人々に大変な関心をもたれ、質疑討論も非常に活発でありました。これで紋別市では既に3回も流水に関する談話会が開かれたわけですが、その他にこれまでに、旭川、北見、網走、稚内、帯広、釧路、函館、倶知安でも開かれ、いずれも大変な盛会で、どの一つをとっても思い出深い印象に残るものばかりです。今後とも地方における談話会をもり立て、地元住民に密着する問題を取り上げて行かなければならないと思います。

又、現在までに、北海道支部が主催した全国大会が4回（昭和35年、46年、55年が札幌、50年が旭川）開かれて居ります。北海道支部は学会のなかでも主体的な存在です。何年かに1回は全国大会に協力しなければならないでしょう。

今回「北海道の雪氷」を発刊することになりましたが、支部の活動状況や、会員相互の動向等を会員の皆様にお知らせし、より緊密な連絡がとれるようにしたいというわけです。どんどん御投稿いただきますようお願いする次第です。

又、昭和59年には、国際雪氷学会と日本雪氷学会とが共催で、国際シンポジウムが札幌で開かれます。支部会員の皆様には、なにかと御支援をいただくと思いますが、今後ともよろしくお願いします。